

「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書

目 次

調査研究の要約 1

第 1 部 調査研究の概要及び結果

第 1 章 調査研究の概要 5

1. 目的
2. 特徴
3. 調査内容
4. 調査方法
5. 研究会

各年齢期における体験と体験を通して得られる資質・能力（体験の力）の関係（イメージ図）
本報告書を読むにあたって

第 2 章 調査研究結果の概要 9

第 3 章 青少年調査基礎集計結果 23

1. 子どもの頃の体験の変化
2. 「体験の力」の実態
3. 子どもの頃の体験と「体験の力」の関係
4. 現在までの体験の多寡と葛藤的な場面の意識の関係
5. 現在までの体験の多寡と生活実態の関係
6. 現在の子どもたちの意識

第 4 章 成人調査基礎集計結果 77

1. 子どもの頃の体験の変化
2. 「体験の力」の実態
3. 子どもの頃の体験と「体験の力」の関係
4. 子どもの頃の体験の多寡と葛藤的な場面の意識の関係
5. 子どもの頃の体験の多寡と大人になってからの生活実態の関係
6. 「文化的作法・教養」の観点からみた「体験の力」

第 5 章 本研究のまとめ 127

千葉大学教育学部教授

明石 要一

第2部	「家庭」・「学校」・「地域」に向けた提言	
第1章	「家庭で求められる取組」・・・・・・・・・・・・・・・・	131
	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官	岩崎 久美子
第2章	「学校で求められる取り組み」・・・・・・・・・・・・・・・・	139
	国立青少年教育振興機構客員研究員	茅野 敏英
	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部助教	
	(国立青少年教育振興機構客員研究員)	青山 鉄兵
第3章	「地域で求められる取り組み」・・・・・・・・・・・・・・・・	145
	常磐大学人間科学部准教授	金藤 ふゆ子
おわりに	・・・・・・・・・・・・・・・・	155
	国立青少年教育振興機構理事長	田中 壮一郎

資料（別冊）

1. 子どもの頃の体験と「体験の力」について
2. 子どもの頃の体験と「体験の力」それぞれの項目について
3. 子どもの頃の体験と大人になってからの生活実態について
4. 基礎集計表
5. 調査票
6. ウェブアンケート調査実施画面